



変化こそ常道、
心もカラダも
アクティブに。

社長の健康メッセージ

リーダーの人生は健康メソッドの宝庫だ。

vol.12

南部電機株式会社

代表取締役社長

塚原 隆市 さん

profile:

1954年生まれ。青森県八戸市出身。1983年南部電機(株)代表取締役社長就任。公益社団法人 八戸観光コンベンション協会会長、(株)ピーエフエム代表取締役専務。

家業から企業へ

高校時代はバイク通学でツーリングと部活動(弓道)を楽しみ、大学からは東京に住んでイベント制作会社で働いていました。車には興味すら持っていませんでした。20歳の時に母を、28歳の時に父を亡くして後を継ぎました。車の知識も業界のことも何も知らないままでしたが、結果論で言えば知らないが故に自分流の商売ができたと思っています。

うちの業界は元々、「壊れたら来るだろう」という待ちの商売が基本です。私は物を売りながら情報を集めて将来求められる商品を探り、お客様を囲い込む商売を心掛けました。最初のうちは何事もうまく行かずに大変でしたが、今となってはいい勉強です。30代までに大概のことを経験できたので、今では何があっても驚かなくなりました。

「変化こそ常道」という会社理念は、父が指示して母が書いたものです。私は後を継いで10年経ち、家業から企業への変革を意識してから、ようやくこの言葉の意味が分かってきました。書かれたのはおそらく昭和40年代です。今でも十分通用する言葉なので感心しています。

健康法は「若い人と話すこと」

経済同友会、日本銀行、JRの方々は口々に「訪れる度に成長している」「常に新しいことに挑戦している」「全国稀に見る例だ」と八戸を褒めてくれます。「これは観光で飯を食べていかないと」と考えて、八戸観光コンベンション協会の会長を引き受けました。観光戦略を今から変えてもって面白くしようと考えています。

ピーエフエムは1月で20年目に入りました。放送局長としてさまざまな業種の人を取材できるため、仕事と関係ない分野で輝いている人と知り合い、そこから

広がった人脈がすごく役に立っています。新しいことをやろうとしている若い人と話すパワーをもらえます。自分にとっての活力源で、健康法かもしれません。

まちづくりの手段として始めたラジオ局ですが、多種多様な情報が蓄積でき、人を通じてまちが変わっていることをリアルタイムで感じる事ができています。

「変化こそ常道」がエンジン

当社は有給休暇を1時間単位で取得できるようにしており、シール形式で本人も把握できるようにしています。健診結果が要精密検査の人にはしっかり検査を

受けるよう指導を続け、フィットネスクラブと法人契約して運動するよう促しています。特にメカニックススタッフは寒い場所で働くため、健診所見が重い人には無理な仕事をさせないようにしています。

新社屋の3階には社長室と会議室しかありません。社員がエレベーターを付けようとしたが断り、常に階段を使うようになりました。今ではどこでも4階まではエレベーターを使いません。その結果、半年ほどでお腹周りがスマートになりました。習慣になると間違いなくいい健康法だと思います。

スケジュールをこなそうとすると風邪を引いていられません。会合があっても午後9時半には帰宅し、毎日午前6時半には出社して、朝礼が始まるまでの2時間は自分のデスクワークに当てています。朝一番でフラインドを開けると八戸の市街地の向こうに階上岳がまっすぐ見えます。本当に気持ち良くて、それだけで健康になります。

ドライブレコーダーの販売には2年前から取り組み、需要が急激に高まった今は十分対応できています。商売は情報をいかに早く集められるかが勝負です。「棚からぼたもち」は基本的にあり得ず、予測

data

南部電機株式会社

本社：青森県八戸市 沼館1丁目20-5
設立：1950年10月



カーエレクトロニクスのコンサルタント
南部電機株式会社

カーエレクトロニクス商品を多数取り扱い。バッテリー・カーオーディオ関連・非常用電源・自動車部品を主要製品に、自動車電装品・用品の販売及び修理、取付などを行っている。